

# 除細動器を寄付

豊橋の病院  
新城市に

豊橋市大山町の心臓病専門病院「豊橋ハートセンター」が十六日、突然死に至る心室細動に陥った心臓に電気ショックを与える「AED」(自動体外式除細動器)を三台、新城市に寄付した。近く豊橋市や豊川市など五市町にも計二十七台を贈る。

新城市役所を訪れた鈴木孝彦院長は、山本芳夫市長に現物一台を手渡し

「AEDの存在を市民に広め、救命率の向上に役立ててほしい」と要望。同市は市役所などに一台ずつ配備。二十二日に職員を対象とした講習会を開く。

AEDは専門的な知識がなくても操作でき、処置が早いほど救命率が高

鈴木院長からAEDの説明を受ける山本市長。新城市役所で

まるため、国は昨年からは一般市民の使用を認可。救急隊が到着するまでの

間、応急処置をしてもらおうと配備が進んでいる。県も新年度に県立高校など二百六十六カ所に配備する。

(大森 進)

